

法人名	医療法人社団みどりの会 酒井病院
事業所名	小規模多機能ホームさかい

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2021年10月23日(14:00~15:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	0人	0人	13人

前回の改善計画	申し送りと部署会議を行なうことで、利用者の情報やニーズを共有し、共通認識を持つことで統一感のあるケアを実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	1日3回の申し送りと部署会議で、情報の共有を行ない、サービスに反映できた。 ご本人だけでなく、ご家族ともコミュニケーションを取ることで、自宅での様子を把握でき、ケアの繋げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	7	1	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	0	8	2	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	9	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	8	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 1日3回のミーティングでその日その日の情報を些細なことも含めて共有できている。 月1回の部署会議でカンファレンスをし、サービス内容について話し合うことで利用者の状況に合わせたサービス提供ができている。ご本人だけでなくご、家族ともコミュニケーションを取り、自宅での様子を聞き取っている。申し送りノートを活用し、目に見える形で情報を残すようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 交代制勤務の為、休み中の些細なエピソードまでは共有できていない事がある。 申し送りノートの内容をきちんと理解できていないことがある。 家族・介護者の不安を把握しきれていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日々のミーティングで情報共有を確実にしない、状態に変化がある場合はカンファレンスにてケアの方向性を統一する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	5人	1人	13人

前回の改善計画
担当している利用者以外の目標もミーティングや日々の関わりの中から把握し、全員で目標達成に繋げていく。目標が定まりにくい方は、これまでの生活歴や家族からの話を聞き推察する。

前回の改善計画に対する取組み結果
担当している利用者様以外の目標を明確に把握できていないことが多い。本人の目標を把握していても、状況的に実現が困難なことがある。日頃からの関わりで、ご本人やご家族から生活歴を聞き取るようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	5	5	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	6	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	5	6	1	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	7	2	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
部署会議で情報を共有して、一人一人の関わり方や支援の方法を確認し、改善点や新たな問題点の話し合いはできている。介護計画書の見直しを行ない、目標の確認や達成などの評価を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者担当制で自身が担当している利用者の目標は把握しているが、その他の利用者の目標把握が不十分だと感じる。
「～したい」の目標に“交流”があると、現状は内部活動のみになり外部活動の目標達成が難しくなっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ケアプランや小規模多機能計画書のモニタリングを行ない、職員全体で改善点や支援の方法を検討する。日々の関わりの中から、「～したい」を見つけ出し、実行の方法をミーティングで話し合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	1人	13人

前回の改善計画	自分の担当になった方の情報(生活歴・思いなど)を聞き取り、責任を持ってアセスメントシートやケース記録に記入することで、見返した際に把握しやすいようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	意思疎通が困難で、家族様とも交流が希薄な方は、アセスメントシートでの情報しか得られず、情報が更新されていないため、本人の思いや生活歴の把握が難しかった。 ミーティングの際に情報共有し、ケアの内容が検討できたことにより体調に合わせた介助が即時に実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	8	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	4	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9	3	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の情報は日々のミーティングや関わりの中でよく聞き取り出来ていると思う。 利用者担当制により、アセスメントは以前に比べ、意識的に行なうようになった。 申し送りで、その日の状態を共有し、本人の状況に合わせた食事・入浴・排泄・静養ができています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること “以前の暮らし方”は自己発言がある方は聞き取りできるが、出来ない方の把握は不十分である。 10個以上の以前の暮らし方は把握できていない。 関わりの中で知り得た情報をアセスメントシートなどに落とし込めていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 新たに知り得た情報はミーティング時に職員間で共有し、アセスメントシートに追加記録することで情報が集約でき、生活歴やご本人の思いを知るツールとして活用できるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	9人	2人	13人

前回の改善計画	運営推進会議などで、事業所として地域とどのように関わっていけるか、新たな関わりのあり方を地域の方や民生委員とともに考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者と家族の関わりは保っているが、新型コロナの影響もあり、地域との関わりが持てなかった。自宅での様子は、送迎時や連絡帳から様子を知ることができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	1	6	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	8	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	4	1	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	0	10	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご家族にお会いした時は、自宅での様子と施設での様子を共有することで、利用の際に自宅での生活スタイルを継続できるように支援した。(ベッドではなく布団に変更など) 日々の関わりの中で、人間関係や性格などの情報を得ることができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新型コロナの影響もあり、地域でのイベントに参加が出来ていないため、関わりが持てていない。 地域資源の把握ができておらず、活用まで至っていない。 地域との関係が切れないうち支援ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 集まって行う活動が困難になっているため、地域との関わりが途切れないような活動の方法を運営推進会議などで検討し、実行していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	4人	3人	12人

前回の改善計画
外部研修は、オンラインなどを有効に活用し、参加できるようにする。自部署内でも、社会資源についての研修を行ない、理解を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果
外部研修はほとんど参加できなかった。社会資源についての理解や把握が出来なかった。日々の利用者支援に関しては、ミーティングを通して情報共有し柔軟に対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	7	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	4	0	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	6	0	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	6	1	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
体調の変化に気付いたら、職員間で共有し、臨機応変に対応できていると思う。利用者、家族の希望に応じたサービスの提供ができている。また、急な追加や変更にも柔軟に対応できている。1日3回の申し送りやミーティングで「変化」に気づき、対応できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を使つての支援や活用ができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
オンラインを活用し、外部研修に参加する。社会資源の活用や支援の仕方を研修に参加して学ぶ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	4人	2人	12人

前回の改善計画	担当者会議や退院前カンファレンスに介護職・看護職が参加できる機会を作る。イベント以外にも地域との関わりが持てる方法を検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当者会議や退院前カンファレンスに参加し、関連事業所と情報共有ができています。地域のイベントはコロナの影響により、開催が困難であったことから参加も出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	8	1	2	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	6	2	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	3	7	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	2	8	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること サービス担当者会議に出席し、ご家族の話が聞けた。サービス担当者会議と運営推進会議はコロナの影響で延期したこともあったが、概ね開催できている。 その他のサービス機関や病院とは情報交換や連携が図れている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 見学者を除き、登録者以外はコロナ禍のため、来所は控えて頂いている。 イベントへの参加はできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 介護職・看護職も担当者会議や退院前カンファレンスに参加する機会を作り、関連事業所と連携することで、利用者の状況を把握し適切なサービスの提供に繋げていく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

7. 運営

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	3人	0人	13人

前回の改善計画	苦情は速やかに共有し、再発防止策を職員間で共有する。 感染対策を図りながら、地域と協働できることを模索し、実行していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	苦情に関しては、ミーティングや申し送りノートを活用し、周知することで再発防止に努めている。 職員として、会議などで意見が言いやすい環境である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	6	5	0	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	7	1	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	3	2	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	4	4	5	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員間では、立場関係なく話しやすい環境ができおり、意見交換がしやすい。 利用者・家族からの苦情に対しては反映できている。ミーティングなどで苦情内容について周知し、再発防止に努めている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域との関わりがコロナの影響で減少している為、意見などを聞く機会が減っている。 地域と協働した取り組みが出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 苦情があれば、ミーティングや申し送りノートで周知し、再発防止策の提案ができる環境を作り、職員全員で改善策を検討していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	0人	3人	12人

前回の改善計画
外部研修は感染予防対策を行ない、参加できる環境を整える。 インシデントレポートを部署会議で話し合う事で再発防止に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
インシデント・アクシデントレポートに関しては、月に1度の部署研修で事故を分析し、再発防止に努めている。ヒヤリハットが積極的に提出できている。 内部研修に関してはほとんど参加できているが、外部研修はコロナの影響や慣れないオンライン研修となり参加ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	8	1	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	1	5	7	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	4	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	3	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	インシデント・アクシデントに関してはすぐに周知し、再発防止のため意見交換ができている。また、月1回の部署会議で必ず話合っている。ヒヤリハットも積極的に記入ができている。 職場内の研修は、職員が持ち回りでテーマを決め、勉強会を開催しており、レポートも提出できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	外部研修は、アナウンスを行っても参加者が少ない。 地域連絡会には参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	外部研修に、職員が最低1回は参加できるように環境を整える。 ヒヤリハットを積極的に提出し、インシデント・アクシデントに繋がらないように取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月23日(14:00~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 高橋・石田・田坂・藤井・田中・山田・鈴木・森澤・井上・三村・大林・三木・西中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	0人	0人	13人

前回の改善計画	事業所内でのプライバシー保護のため、申し送り時や排泄の声掛けは周りに配慮する。成年後見制度の勉強会を開催し、知識を深め、必要な方に説明が出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	プライバシーに関しては、申し送り時に個人名を出さないように努めることができた。成年後見制度に関しては、現在必要な方がいないため、事業所内での研修は実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	5	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	4	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	3	6	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	6	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること プライバシー保護は徹底されており、申し送り時も名前前で伝えず、番号やイニシャルで伝えるようにしている。 身体拘束は、行わないように努めている。必要な場合、ご家族、職員間で話し合い、期間を決めている。また、拘束をしないような介助の仕方を研修で学んでいる。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度が必要な方がいない為、活用はできていない。 職員が手薄になったときなど、スピーチロックが見られる。申し送りの際は、個人情報を意識できているが、普段の会話の中では、利用者の名前が出ている事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ミーティングやカンファレンス時には、利用者が特定されないように配慮する。 写真なども含めて個人情報の保護に努める。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団みどりの会酒井病院	代表者	長谷川 麻衣子	法人・事業所の特徴	利用者様・家族様に最大限活用して頂けるよう、時間延長サービス等を柔軟に受け入れ、医療法人が運営している事から、医療必要度や介護度の高い利用者様の受け入れも実施している。また、通いサービスにおいて、利用者様と職員が様々な行事を通して関わりを多く持つことで、馴染みの関係を築くことを目的に全体で取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能ホームさかい	管理者	高橋 裕子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	13人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続き、申し送りと部署会議を行うことで利用者の情報やニーズを共有し、共通認識を持つことで統一感のあるケアを実施する。	1日3回のミーティングでその日その日の情報を些細なことも含めて共有できている。ご本人だけでなく、ご家族ともコミュニケーションを図り、自宅での様子を聞き取っている。	ミーティングを小まめにされているので、少しの変化にも気付いて家族としては安心。	日々のミーティングで情報共有を確実にいき、状態に変化がある場合はカンファレンスにてケアの方向性を統一する。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策を徹底し、安心して利用して頂ける環境づくりに努める。	定期的な換気と消毒の徹底、マスク着用の声掛けなど行い、感染対策を実施して安心してご利用頂ける環境づくりを行なった。	定期的な換気や消毒は徹底できても、認知症の方にマスクの着用を促し続けるのは大変だと思う。	小規模多機能の機能訓練室に陰圧装置を設置。引き続き、感染予防対策を行い、安心して利用できる環境をつくっていく。
C. 事業所と地域のかかわり	イベント以外にも地域との関わりが持てる方法を検討していく。	新型コロナウイルスの影響により、地域との関わりが困難だった。	コロナの影響で地域と事業所の関わりが持てなかった。	陰圧装置が設置してある室内にて、感染予防を行いながら講演会や交流など地域の方と一緒に取り組んでいく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	イベント再開時には感染症対策を徹底し、地域の方と協力のもと参加できる体制を整えていく。	地域住民との交流はできなかったが、隣接するサ高住との交流はイベントを通して図れた。	地域でもコロナの影響でイベントができなかった。	感染対策を行いながら、参加できるように体制を整えていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所として地域にどのように関わっていけるか、新たな関わりが必要な方に対して参加者と共に考えていく。	コロナ禍における地域住民の現状を話し合う機会が持てた。	事業所と地域の現状やコロナについての情報交換ができた。	地域と情報交換を行うなかで、事業所としてどのように関わることができるか共に考えていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	年2回の防災訓練を通して、日頃から災害対策への認識を高めておく。	防災訓練を行い、避難ルートの確認や実際に避難器具を使用し、災害対策への意識を高めることができた。	年2回の訓練を行っているとのことだが、どのような内容の訓練をしているか分かるようにしてほしい。	防災訓練の際に地域の方にも参加して頂くことで、有事の際にスムーズに連携が図れるようにする。
--------------------	----------------------------------	--	---	---